

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
学年通信 第6号 平成30年8月28日(水)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

2学期を盛り上げよう! ~ 学年主任より ~

みなさんにとって2回目の気比校祭が目前に迫っています。
今年のテーマ「いと をかし」を、皆さんの解釈で表現し、
誰もが笑顔になるような楽しい気比校祭となるよう、頑張って最後の
追い込みをしていただいていると思います。また、3年生をサポート
して、1年生のよい手本になるような姿を見せてほしいと思います。
さて、2学期の授業が5日から始まります。
いつも通りの学校生活がスタートするわけですが、14日には後
期生徒会役員選挙があります。このことが意味するのは、本格的に学校を支え盛り上げてい
く役割が2年生にバトンタッチされたということです。
この意味をよく理解して、2年生が活躍してくれることを期待します!



始業式から9月にかけての行事予定

8月 29日(水)	第2学期始業式、体育祭予行練習 登校時は、制服を着てくること。 体操服(半袖・短パン)とお弁当を持参すること。
30日(木)	学校祭準備(終日)
31日(金)	学校祭準備(終日) 登校時は、制服を着てくること。
9月 1日(土)	気比校祭(文化祭第1日目:市民文化センター) 11:30 市民文化センター 集合 12:00 開会式 17:00 終了予定
2日(日)	気比校祭(文化祭第2日目:本校) 8:30 ST 8:45 催事スタート 14:00 催事終了 14:30 文化祭表彰式 終了後、文化祭後片付け および体育祭準備
3日(月)	気比校祭(体育祭:本校) ※ 荒天の場合は順延します 16:00 ST 8:30 ST 8:45 グランド集合 9:00 開会式 9:30 競技開始 14:50 競技終了 15:00 閉会式 15:30 ST 終了後、体育祭後片付け 17:00 終了予定時間
4日(火)	振替休日
5日(水)	午前中授業、〈1限目〉校舎内外の後片付け
7日(金)	教室ワックス掛け
12日(水)	〔進学〕到達度テスト
14日(金)	後期生徒会役員選挙
17日(月)	敬老の日
21日(金)	後期ホーム役員選挙
24日(月)	秋分の日



3日が中止の場合	3日 体育祭・準備 4日 体育祭 5日 代休 6日 1限・清掃
4日が中止の場合	4日 体育祭・準備 5日 体育祭 6日 代休 7日 1限・清掃
5日が中止の場合	5日 体育祭・準備 6日 体育祭 7日 代休 10日 1限・清掃
6日が中止の場合	6日 1限・清掃 7日 代休

進路を考えよう

第5回 あなたの将来を決めるもの



想像してみてください。
あなたは、10年後どのような生活をしていると思いますか。
さらに、20年後、30年後はどうでしょうか。
前回のコーナーでは、AIが活躍する社会となると書きましたが、
それに伴ってなくなる職業もあれば、新しく必要とされる職業も
生まれると考えられます。そうすると、「これまでではこうだったから
・・・」という経験則に当てはまらないことが増えますので、「ど
うなっているのか、わからない」と、多くの人が感じているので
はないかと思います。
しかし、考えてみれば、新しい考えや技術が生まれれば、それ
に伴って世の中も大きく変わるの当たり前前のことであり、例え
ば産業革命の時期であったり、日本の明治維新の時にも、今と同じ
ようなこと(いや、それ以上のこと)が起こりました。
つまり、皆さんの感じる不安というものは、「変化の時代」においては当然の事です。



こうした場合に私たちが取るべき行動は、「動く」か「動かない」かの2つしかあり
ません。

1つ目の「動く」というのは、明治維新をもたらした志士のように、
自分自身で目標を立てて、その目標に向かって全力で突き進むとい
うことです。もう少しわかりやすくいうと、今ある職業の中からやり
たいことを見つけて、その職業のプロになるということです。
このように書くと「AI時代になっても大丈夫なのか」という
疑問の声が聞こえそうですが、大丈夫です。
皆さんに芸能人はと聞くと、多くの方はアイドルとかタレント
さんを思い浮かべるとは思いますが、落語家さんや歌舞伎役者だっ
て、今はやりからは遠いかも知れませんが立派な芸能人です。
このように、例えAI時代になっても、人間が生きる世界であ
ることに変わりはないのですから、その道のプロになることができ
れば、その職業がなくなるということはないのです。



次に、2つ目の「動かない」とはどうすることでしょうか。
自分自身で目標を立てられないのなら、その時に必要とされることに機敏に対応する
ということです。
しかし、勘違いをしないでください。どんなことでもできる人になれといっているわ
けではありません。ここで言いたいのは、何を目的にして、何をすればよいのかを、自分
自身で判断して行動する力を持つということです。
現在であれば、筆者のようにコンピュータ関係(特にSNS)に弱い人間は、求めら
れたら、自分でできるようにあがく必要がありますが、AI時代になれば、例えば音声
で話しかけるだけで、目的とすることができるようになるのではないのでしょうか。
ですから、皆さんに必要な力というのは、現代版の「読み・書き・ソロバン」の能力
ということになります。

具体的にいえば、現代の「読み」とは「言語力」だと思えます。
これは、高い日本語の能力を持っていることはもちろんのこと、
英語の能力も身に付けるということです。
目先の話をすれば、来る2020年にはオリンピックが日本
で開催され、多くの外国の方が日本を訪れるでしょう。このと
き外国の方は、単に競技場近くだけではなく、この敦賀の地にも
足を伸ばすことが予想されます。
こうした外国の方の「おもてなし」をするのは皆さんです。
その時のためにも、特進コースの人は英検2級を、進学コースの人は英検準2級を、教養
コースの人は最低でも英検3級を取得して高校を卒業してほしいと思います。
(紙面が尽きましたので、つづきは次回とします。)

